

教委だより

No.436



令和5年2月21日

編集発行 富山県教育委員会
発行人 教育企画課長

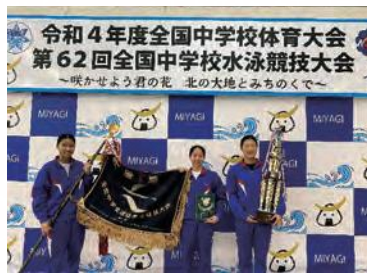
令和4年度 全国中学校体育大会

「全国大会で活躍した富山県の中学生」

富山県中学校体育連盟 理事長 有澤 桂

「咲かせよう君の花 北の大地とみちのくで」のスローガンのもと、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、令和4年度全国中学校体育大会が北海道・東北ブロックで開催されました。本県から、14競技に220名の選手が参加しました。大会では、中嶋碧選手（城端中）の水泳競技女子 400m個人メドレー1位（2年連続）、同200m個人メドレー1位、城端中学校の女子総合優勝、伊東大寿選手（速星中）の陸上競技男子走り高跳び2位、氷見市立十三中学校のハンドボール競技女子3位をはじめ、3競技11種目において入賞を果たしました。さらには、滋賀県で行われました第30回全国中学校駅伝大会では、大沢野中学校が女子の部で見事4位に入賞し、県勢過去最高成績を残しました。5区を力走した長森結愛選手は、区間賞とともに今大会の最優秀選手に選ばれました。

また、全日本中学生ホッケー選手権大会では、石動中学校女子が26年ぶりに優勝、全日本中学選手権競漕大会では、楡原中学校が3位に入賞するなど、例年を上回る多くの選手が全国の舞台で活躍しました。来年度は、四国ブロックで全国中学校体育大会が開催されます。本連盟ではさらなる選手の育成支援を進めてまいりたいと思います。



全国中学校水泳競技大会
女子総合優勝 南砺市立城端中学校
(左：中嶋優選手、中：大西琴葉選手、右：中嶋碧選手)



全日本中学生ホッケー選手権大会
女子優勝 小矢部市立石動中学校

全国高校総体

「躍動の青い力 四国総体 2022」を終えて

富山県高等学校体育連盟 理事長 山本 一登

「燃え上がり 我らの闘志 四国の大地へ」のスローガンのもと、令和4年度全国高校総体が、徳島県、香川県、愛媛県、高知県の四国4県と和歌山県を会場に開催され、本県から30競技に460名の選手が参加しました。

今年は、コロナ感染対策を徹底した上で、3年ぶりに観客の入場を認めて大会が開催され、コロナ前と同様とまではいきませんが、高校生のスポーツの祭典として大いに盛り上がりました。本県選手はよく健闘し、13競技42種目でベスト8以上に入賞する好成績を収めました。バドミントンでは男子ダブルスで高岡第一高校の大田・佐々木組が県勢としては21年ぶりに優勝し、学校対抗でも高岡第一高校が2位に入賞しました。ボクシングではミドル級で上市高校の藤山選手が2位に入賞し、水泳（競泳）では女子100mバタフライ、相撲では個人100kg級、ウエイトリフティングでは学校対抗等の4種目でそれぞれ3位に入賞しました。また、公開競技ながら水泳（飛込）女子シンクロナイズド飛板飛込でも3位入賞を果たしました。

全国高校総体での経験を活かして、富山県の高校生諸君が今後各方面で活躍してくれることを期待しています。



総会開会式



競技の様子（ボクシング：藤山選手）

Contents (主な内容)

● 全国中学校体育大会	1p
● 全国高校総体	1p
● 高校生とやま県議会	2p
● 第27回富山県中学校文化祭	2p
● 第34回富山県高等学校文化祭	2p
● 科学の甲子園ジュニア全国大会	3p
● とやま科学オリンピック2022	3p
● 親子でチャレンジ小学生ワクワク体験教室	3p
● 三校合同課題研究発表会	4p
● 永年勤続教職員等表彰式	4p
● 令和4年度教育功労賞者等表彰式	4p
● 「とやま親学び」研修会	5p
● とやまの小・中学生ライフプラン教育について	5p
● 幼児教育センターの取組み	5p
● 令和4年度全国体力・運動能力等調査の結果	6p
● 総合教育センターNOW	7p
● 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果	8p

● 令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等に関する調査	8p
● 令和3年度 中学校・高等学校卒業者の進路状況調査結果	9p
● ふるさととやまの自然・科学ポイントラリー認定証交付	9p
● はつらつ公民館学び支援事業	9p
● 学校給食とやまの日の取組	10p
● 学校給食優良学校	10p
● 健康教育実践優良学校	10p
● とやま学校多忙化解消推進委員会	10p
● 「高志の国文学」情景作品コンクール 表彰式	11p
● 夢の卵育成事業（富山県ひとづくり財団）	11p
● インフォメーション	12p

富山県立図書館
富山県埋蔵文化財センター
富山県生涯学習カレッジ
富山県ひとづくり財団
放送大学富山学習センター

令和4年度「高校生とやま県議会」開催

高校生の主体的な政治参加意識や地域参画意識の向上を図ることを目的に、今年度も「高校生とやま県議会」を実施しました。7月26日の開会式では、県内の高校2年生40名の「高校生議員」に議員認定証が渡され、12月16日の本会議までの4回の活動において、株式会社POTETO Mediaの古井康介氏による講演や知事・県議会議員との意見交換等を通して政治参加の大切さを学びました。さらに高校生議員は5つの委員会に分かれて、「ワクワクとやまの創造」をテーマに、高校生の視点から県政に対する提案を協議、発表しました。



本会議の様子

第27回 富山県中学校文化祭

「届けよう文化の風！ 発想・創造のかがやきをのせて」のスローガンのもと、10月9日に「第27回富山県中学校文化祭」が高岡文化ホールで開催されました。県内の中学校及び義務教育学校、特別支援学校の生徒が、音楽や郷土芸能、放送、美術等10部門で日頃の活動の成果を発表しました。その様子は、今年度も県内全ケーブルテレビで配信されました。



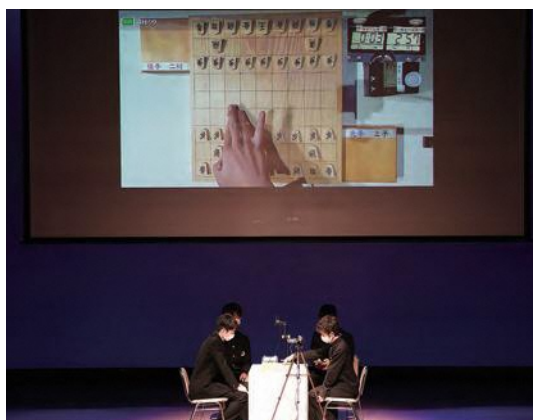
伏木中学校生徒による伏木帆柱起し祝唄踊り



第34回 富山県高等学校文化祭

第34回富山県高等学校文化祭が11月11日～13日を中心会期として、富山県民会館をメイン会場に開催されました。今年のテーマ「繋がる伝統 煌めく躍動 広がる創造」には、各校の部活動でそれぞれに受け継がれた伝統が、新しい創造となり、未来につながってほしいという想いが込められています。

日々文化活動に励む高校生の創造性あふれる作品展示やステージ発表は、会場を訪れた観覧者を魅了しました。



将棋専門部「SHOW棋 TIME」公開対局



郷土芸能専門部「越中五箇山民謡」南砺平高校

第10回 科学の甲子園ジュニア (中学生) 全国大会

昨年12月2日(金)～4日(日)に、第10回科学の甲子園ジュニア全国大会(姫路市文化コンベンションセンター「アクリエひめじ」で開催)において、とやま科学オリンピックの上位入賞者6名(中1、2年生)で構成された富山県代表チームが7年ぶりに総合成績で1位となりました。なお、競争種目のうち、実技競技①(実験分野)では1位、実技競技②(工作分野)では4位の成績となりました。

県代表チームは、3校の中学校(入善・庄西・富山大学教育学部附属)からなる合同チームでしたが、大会前の研修会でチームワークを着実に高め、大会本番では各メンバーがその実力を最大限に発揮して、輝かしい成績を収めました。優勝記者会見では将来の夢について、「今までお世話になった小中学校の先生方のような富山県の教育を支える教員になりたい」と胸を張って答える生徒たちもいました。

なお、3月に開催される第12回科学の甲子園(つくば市)には、とやま科学オリンピックで好成績を収めた富山中部高校が県代表として出場します。科学の甲子園ジュニアに続き、その活躍が期待されます。



優勝記者会見

—むすかしいところがおもしろい— ～考えよう 楽しもう 科学の世界～

とやま科学オリンピック

今年で11回目を迎えた「とやま科学オリンピック2022」は、8月6日(土)に魚津高校、富山中部高校、高岡高校、砺波高校を会場として中学校部門が開催され、8月11日(木)に富山大学および県総合教育センターを会場として高校部門が、606名の生徒(中学校部門308名、高校部門298名)が参加しました。

富山の自然環境や歴史、文化等が出題されましたが、高校部門(物理・化学・生物分野)では実験・観察をともなう課題もあり、真剣な眼差しで実験を行う参加者の姿が見られました。

アンケートでは、「毎年違うジャンルの問題が出てきて、『へえ、そんなことがあるのか』と、毎年感じます。富山の良い所が数学、理科、社会といろんな分野と結びついて出題されるのが、とても面白くて良いと感じました」、「計算尺や折り紙など、解答用紙などとは別のようなものがあると面白いと思った。受験の環境が非常に良かった」という感想がありました。



高校化学部門
(銅イオンの濃度を求める滴定操作)

親子でチャレンジ小学生ワクワク体験教室

8月20日(土)に開催された「親子でチャレンジ小学生ワクワク体験教室」では、小学生5、6年生の児童と保護者が参加しました。前半は総合教育センターで親子でクリップモーターを製作し、後半はインテック111ビルにおいてモーター技術が活用されている施設を見学しました。

アンケートでは「子供と一緒に製作する機会がないのでとてもよかったです」、「モーターは身の回りにたくさんあることが分かりました。」という感想がありました。



クリップモーターの製作

探究科学科三校合同課題研究発表会

富山、富山中部、高岡高校の探究科学科（理数科学科・人文社会科学科）による「三校合同課題研究発表会」が12月18日（日）に高岡文化ホールで開催されました。今年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため、来場者を制限しての開催でした。

ステージでの代表発表「射的無双～最も遠くに飛ばすには～」（高岡高校）では、動画を使ったわかりやすい発表が行われ、活発な質疑応答が行われていました。この他にも、富山市のコンパクトシティ政策を研究した「富山って意外とすごいらしいよ～富山の独自性とまちづくり～」（富山高校）や、送電網の効率的な配置を研究した「富山市の電力網とグラフ理論～安全性と効率性～」（富山中部高校）など多岐にわたるテーマが並び、ポスターセッションでは、それぞれの研究内容を共有しました。



ポスターセッションの様子

永年勤続教職員等表彰式

令和4年度永年勤続教職員等表彰式が、7月1日県民会館で行われました。県全体では、勤続年数30年が274名、勤続20年が111名、合計385名が表彰を受け、その代表者に表彰状が授与されました。

教育長は、式辞で「今日、教育県富山として全国から高い評価をいただいておりますのも、ひとえに皆様方の永年にわたるご努力とご熱意の賜物であり、心から感謝を申し上げます。未来を担う子ども達が健やかにたくましく成長していくためには、教育現場の第一線で活躍されている皆様方が豊富な知識と経験を活かしつつ、広い視野と見識をもって能力を発揮され、心身ともに生き生きと健康で、日々の業務に積極的に取り組まれることが、何よりも重要であります」と謝意を表しました。

これに対して、岡龍哉小矢部市立大谷中学校長が、代表として謝辞を述べられました。



令和4年度 教育功労者等表彰式

11月1日（火）、令和4年度富山県教育委員会教育功労者等表彰式が県民会館で行われました。この表彰は、学校教育や社会教育、文化やスポーツの分野で優れた業績をあげた方を表彰するもので、今年度は、54個人と13団体が選ばれました。

教育長は式辞で、「今日、教育県富山として全国に誇りうる教育を展開しておりますのも、ひとえに、皆様の比類のない使命感と不断の努力の積み重ねに負うところが大きい」と功績をたたえました。

受彰者の皆様の、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



「とやま親学び」研修会を開催

「親学び講座」は、「小中推進リーダー」「小中推進スーパーリーダー」「幼保推進リーダー」によって、普及・啓発活動が行われています。

「開催しやすく、多くの保護者が気軽に参加できる親学び」を目指して、6月に「基礎講座」「ファシリテーター養成講座」「応用講座」を開催しました。推進リーダー以外にも市町村教委やPTAの方々にも参加していただき、のべ83人が受講しました。今年は、親学びの生みの親である神川康子先生から講義と演習、スーパーリーダーからの演習を通して、「親学び講座」を運営・進行する技術やリーダーとしての資質の向上を図りました。

子供たちの健全育成のきっかけをつかむためにも、多くの保護者の方々に「親学び講座」に参加していただきたいと思えます。また、HP「子育てネットとやま」で、イラスト動画で気軽に「親学び講座」を体験することができます。QRコードから、参加してみてください。



神川先生による講義



「親学び講座」の演習



ついイライラしてしまうお母さん
（「親学び講座」体験動画）

とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業

県教育委員会では、子供たちが富山で働き、暮らし、子育てするよさを知り、自分のライフプランを考えることができるよう、小・中学校等の授業で活用できるライフプラン教育用冊子の作成や「ライフデザインセミナー」（地域で活躍する方の講話）、「乳幼児ふれあい体験」の実施を通して、ライフプラン教育の普及・充実を図っています。

今年度、「ライフデザインセミナー」を実施した学校からは、「仕事に対するやりがいを教えていただき、あこがれの気持ちをもつことができた」「自分の生き方について考えたり、夢への道りを調べたりしたいという思いを強くした」などの報告がありました。また、9割を超える児童生徒が「ライフプランの大切さを考えさせられた」と回答していました。

新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、「乳幼児ふれあい体験」の実施は控えられていますが、今後も本事業を継続し、県内の小・中学生がライフプランについて考える環境を整えていきたいと考えています。

幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指して

県教育委員会幼児教育センターでは、令和3年度より「幼児教育・小学校教育接続推進事業」において、幼小接続モデル校区を県内6小学校区に設置し、取組を進めています。昨年度の取組については、4月に配布した「幼小接続取組リーフレット」において、紹介しています。

また、今年度のモデル校区では、合同研修会や交流活動等、実態に応じた取組を積極的に進めることに加え、幼小で連携してスタートカリキュラムを作成しています。作成されたスタートカリキュラムはリーフレット・HP等で発信することとしています。

さらに、幼小接続の理解を深めるための動画をインターネット上で公開しています。モデル校区での取組や動画を活用し、多くの校区で幼小接続を推進していただきたいと思えます。

●動画1「幼小接続の重要性」(12分)
<https://youtu.be/AFWmukl2EPM>

●動画2「円滑な幼小接続のために」(15分)
https://youtu.be/pMSyJV4_E2A

●動画3「幼児小の架け橋プログラム」(7分)
https://youtu.be/nTDR_KdBSVo



今後子供たちが幼児期に身に付けた資質・能力を生かし、小学校生活を自信と意欲をもって過ごすことができるよう、取組を進めていきたいと考えています。



接続取組

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

スポーツ庁が発表した調査結果の概要には「体力合計点については、小・中学校の男女ともに令和元年度調査から連続して低下」とあり、背景として「運動時間がコロナ（令和元年）以前の水準には至っていないこと」「スクリーンタイム※の増加などの生活習慣の変化」「肥満である児童生徒の増加」が挙げられています。

本県の体力合計点は、小学校男女ではやや改善しましたが、コロナ（令和元年）以前の水準には至っておらず、中学校男女においては昨年より低下しており、総合的な体力は低下傾向にあると考えられます。

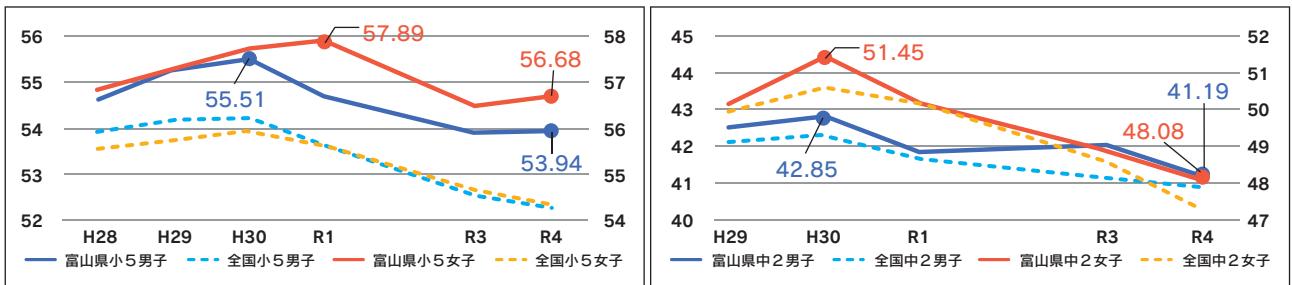
※スクリーンタイム…平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

1 体力・運動能力、運動習慣等調査結果の富山県概要

〈小5・中2の調査結果：悉皆調査〉 (網かけ：本県平均値が全国平均値以上の種目)

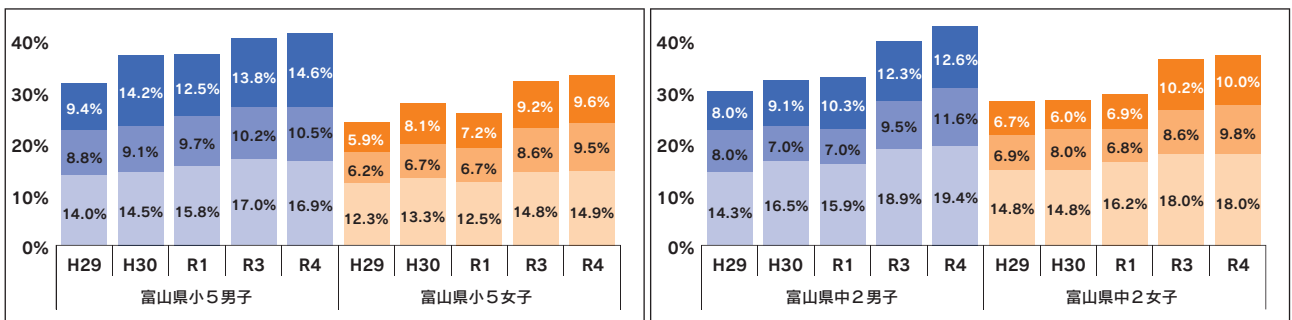
種目等	小学校第5学年				中学校第2学年			
	男子		女子		男子		女子	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
握力 (kg)	16.55	16.21	16.23	16.10	28.73	28.95	22.90	23.17
上体起こし (回)	18.98	18.86	18.19	17.97	25.19	25.64	21.27	21.58
長座体前屈 (cm)	33.89	33.80	38.39	38.20	44.24	43.76	46.32	46.05
反復横とび (点)	42.80	40.37	41.51	38.67	51.01	51.02	45.93	45.81
持久走 (秒)					398.80	410.92	292.57	303.96
20mシャトルラン(回)	50.96	45.93	42.27	36.98	80.56	77.69	54.13	51.34
50m走 (秒)	9.54	9.53	9.65	9.70	8.10	8.06	8.99	8.97
立ち幅とび (cm)	155.06	150.86	150.41	144.59	199.09	196.82	170.08	166.89
ボール投げ (m)	21.52	20.31	14.46	13.16	20.67	20.20	12.95	12.38
体力合計点	53.94	52.28	56.68	54.31	41.19	41.04	48.08	47.42

2 体力合計点（各種目の記録をそれぞれ得点化し、合計した点数の平均値）の推移



※令和2年度は調査なし

3 スクリーンタイム（平日の視聴時間が3時間以上の割合）の推移



※積算グラフは下から「3～4時間」、「4～5時間」、「5時間以上」

本県の小・中学生の男女においても、スクリーンタイムは引き続き増加している状況が見られます。児童生徒一人一人がスクリーンタイムを含めた生活を見直すとともに、生活の中に運動の習慣を位置付けるなど、規則正しい健康的な生活習慣を作ることが重要です。

また、運動を行うことで脳の動きが活発になり、集中力が高まったり、不安な気持ちが和らいたりすると報告されています。児童生徒が心身ともに健康な生活を送っていくためにも、運動の効果や必要性について、児童生徒及び保護者に繰り返し伝えていくことが大切です。